

## 令和2年度 第2回佐賀県交通渋滞対策協議会

### 議事概要

1. 日時 令和3年3月18日（木） 10:00～11:10

2. 場所 佐賀国道事務所4F会議室+WEB

### 3. 議事

- (1) 本年度に実施した対策の効果検証
- (2) 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針
- (3) 官民連携による渋滞対策

### 4. 議事要旨

- (1) 本年度対策を実施した「国道3号 <sup>ながよし</sup>永吉 交差点（暫定供用中）」及び「国道3号 <sup>そねざき</sup>曾根崎 交差点（暫定供用中）」、「国道34号 <sup>きだい</sup>佐大 医学部入口交差点」について、対策前後を比較すると一定の旅行速度向上が見られ、その対策効果を確認した。
- (2) 交通需要マネジメント（TDM 施策）として、佐賀市街地部へ流入する通勤交通をターゲットとし、自動車利用から鉄道や自転車といった移動手段の転換を推進することについて関係者間で確認した。
- (3) 国道34号 <sup>とす</sup>鳥栖市 <sup>むらたまち</sup>村田町 交差点について、新たに渋滞緩和に向けた検討に着手することを確認した。
- (4) 今後も継続的に渋滞状況をモニタリングし、対策を立案・実施することを確認した。

以上

# 令和2年度 第2回 佐賀県交通渋滞対策協議会

## 目次

0. 本日の報告事項・議事内容	.....	1
1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針	.....	3
2. 本年度に実施した対策の効果検証	.....	6
3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針	.....	12
4. 官民連携による渋滞対策	.....	27
5. 今後について	.....	31

# 0. 本日の報告事項・議事内容

## 【交通渋滞対策協議会の進め方】

○交通渋滞対策協議会は、効率的・効果的に渋滞対策を推進していくために年2回開催することを基本とする

(1年間の流れ)

### 第1回渋滞対策協議会(2020.8.21開催)

#### (主な目的)

・主要渋滞箇所の見直しの審議、今後の渋滞対策に関する協議

#### (主な議題)

- ① 前年度の1年間分のデータを用いた主要渋滞箇所のモニタリング結果の報告と見直し
- ② R2.3月以降の対策実施箇所の状況報告
- ③ 緊急事態宣言下(4/17~5/14)における交通状況(渋滞の変化)の報告
- ④ 今年度実施する渋滞対策の進め方
- ⑤ 交通渋滞に関する課題の共有・議論



本会議の位置づけ

### 第2回渋滞対策協議会(本日)

#### (主な目的)

・当該年度の渋滞対策の取り組みの総括、今後の渋滞対策に関する協議

#### (主な議題)

- ① 本年度に実施した対策の効果検証
- ② 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針
- ③ 官民連携による渋滞対策

# 0. 本日の報告事項・議事内容

## 1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

## 2. 本年度に実施した対策の効果検証

(1) 対策箇所の紹介

(2) 渋滞要因及び対策内容の紹介と効果分析

## 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

(1) これまでの対策方針

(2) 佐賀市街エリアの交通特性

(3) TDM施策の検討

(4) 対策内容と今後の展開

## 4. 官民連携による渋滞対策

## 5. 今後について

## 本日の議事内容のポイント

### ポイント1

新たに対策を実施した箇所(3箇所※)の状況報告

- ※ {
  - ・国道3号 曾根崎交差点
  - ・国道3号 永吉交差点
  - ・国道34号 佐大医学部入口交差点

### ポイント2

緊急事態宣言下(R2.4.17~R2.5.14)の交通状況等を踏まえた交通需要マネジメント(以降:TDM)施策の方向性及び具体の対策案について協議

### ポイント3

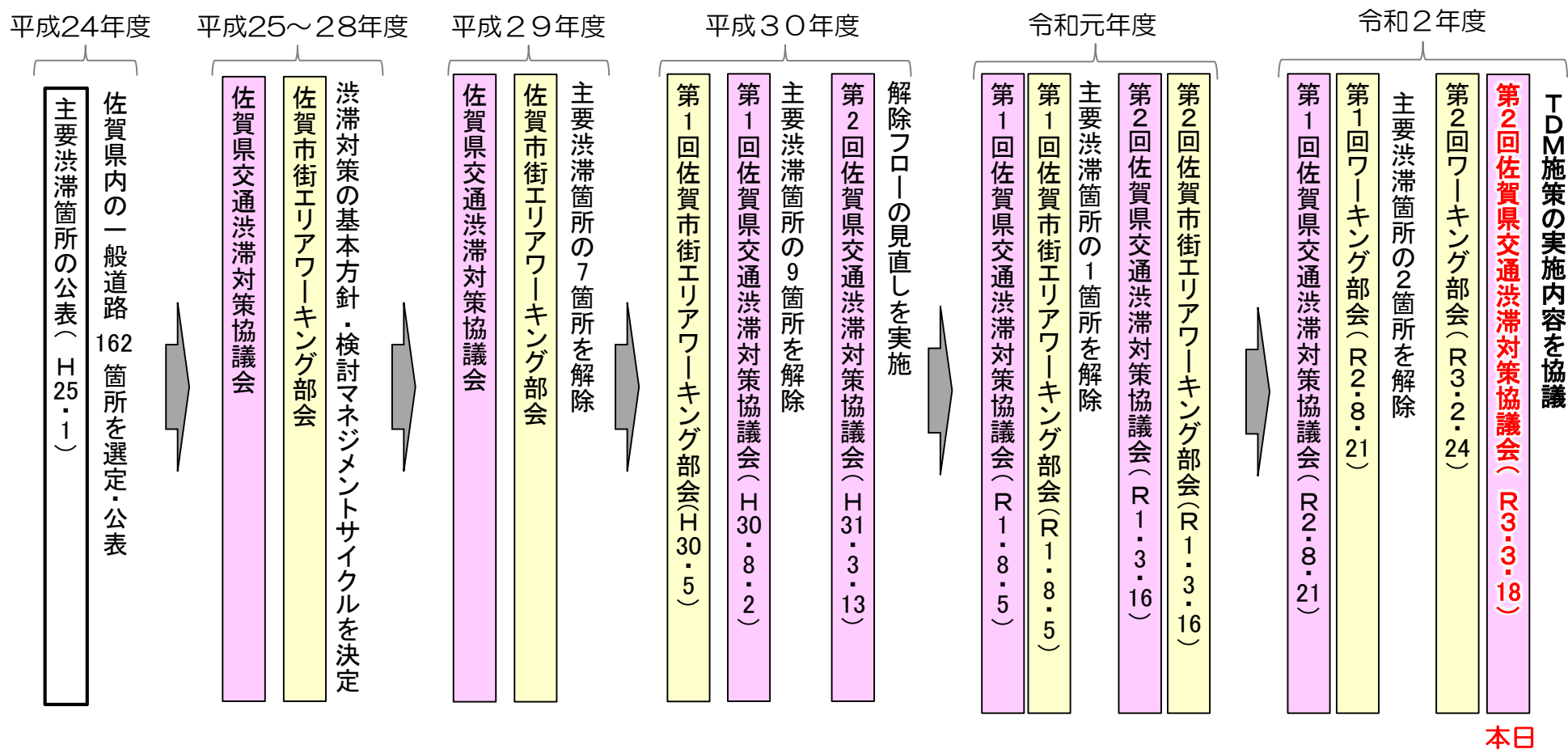
今後のピンポイント対策候補箇所※の紹介

- ※ {
  - ・国道202号 大土井交差点
  - ・国道34号 鳥栖市村田町交差点



# 1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

## (1) これまでの経緯



# 1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

## (2) 佐賀県内の主要渋滞箇所(143箇所)の状況

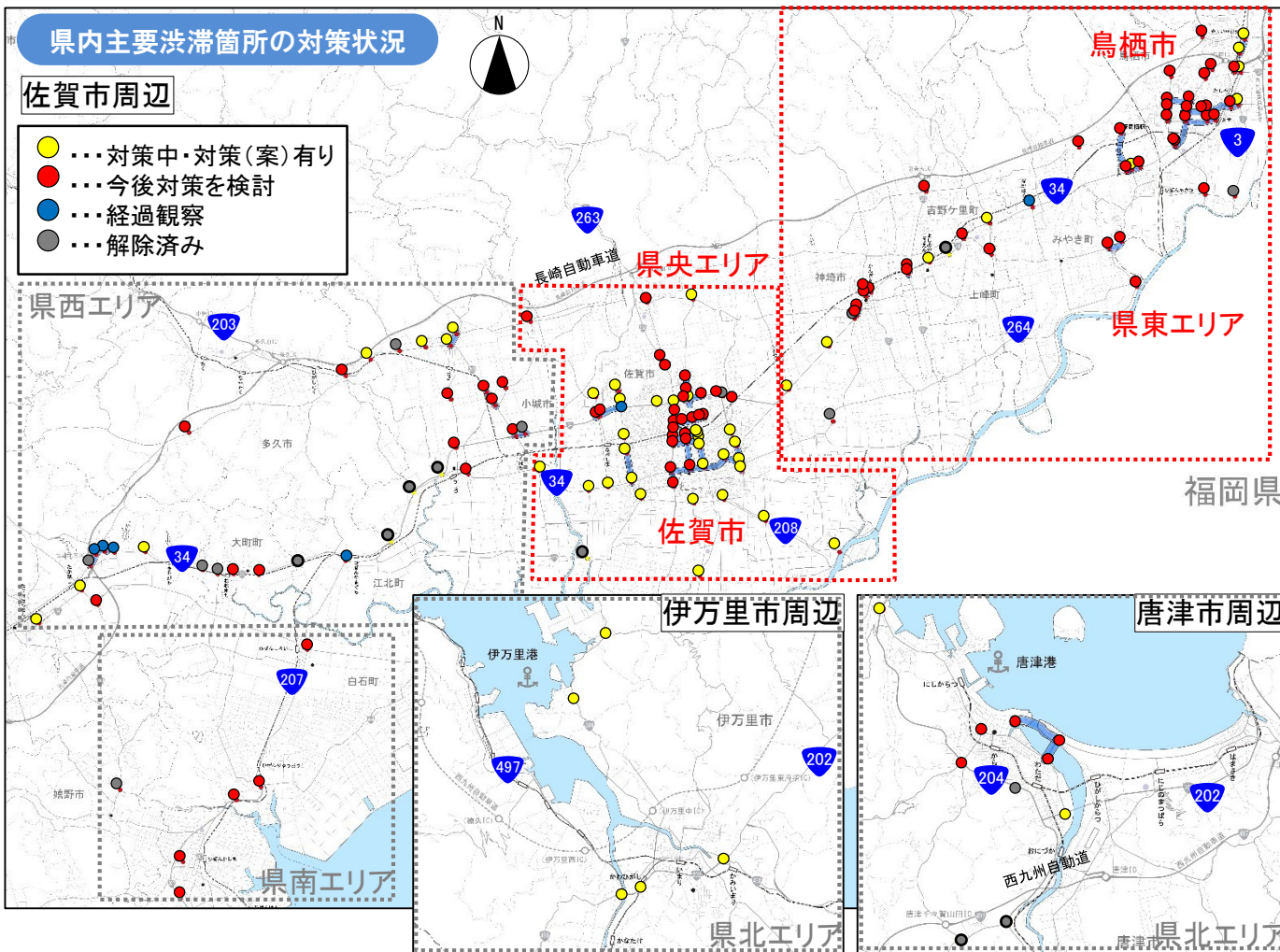
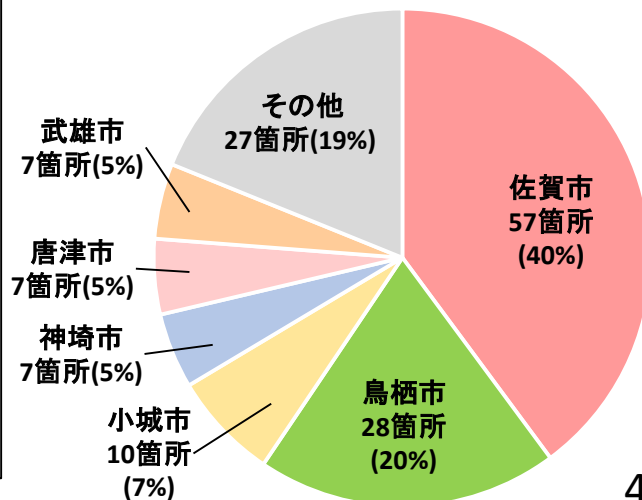
- 佐賀県内の主要渋滞箇所は、平成25年1月に162箇所を選定・公表し、バイパス整備及び交差点改良等の対策やモニタリングを実施してきた結果、これまでに**19箇所を解除**
- 佐賀市街地・鳥栖市を中心に**143箇所の主要渋滞箇所が残存**

### 現在の佐賀県内主要渋滞箇所

時期	主要渋滞箇所	内訳	
		集約区間数	箇所数
選定時 (H25.1)	162箇所	35区間 (77箇所)	85箇所
H29年渋滞協後 (H29.8)	155箇所	35区間 (77箇所)	78箇所
H30年渋滞協後 (H30.8)	146箇所	34区間 (75箇所)	71箇所
R1年渋滞協後 (R1.8)	145箇所	34区間 (74箇所)	71箇所
R2年渋滞協後 (R2.8)	143箇所	34区間 (74箇所)	69箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成  
 区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

### 主要渋滞箇所(143箇所)の市町別内訳



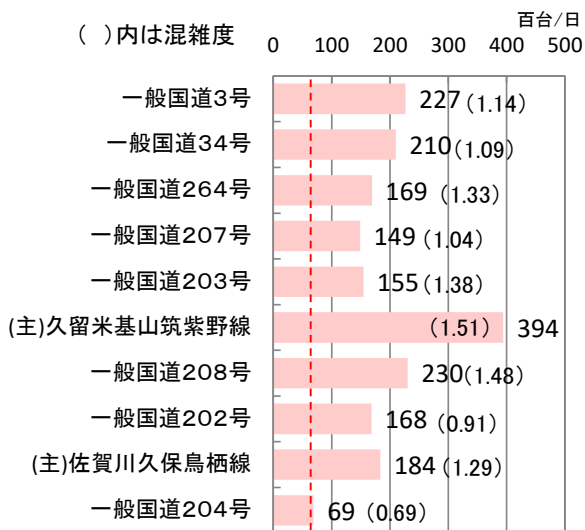
# 1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

平成27年度佐賀県交通渋滞対策協議会で決定

## (3) 佐賀県における渋滞対策の基本方針

課題	佐賀市街地を中心に、物流・交通拠点が集積する鳥栖市、伊万里市、唐津市や福岡都市圏との都市間交通が多い これらを結ぶ主要幹線道路では、交通容量不足が生じており、佐賀市には県内主要渋滞箇所の約4割が集中している
基本方針	地域高規格道路整備や現道拡幅による交通容量の拡大を図るとともに、交差点改良など局所的な対策やソフト施策による渋滞軽減への取組みを検証していく

### 路線別の交通量と混雑度



県平均75百台/日(0.77)

※高速道路、地域高規格道路を除く  
資料：H22道路交通センサス

### 佐賀県全体の交通流動



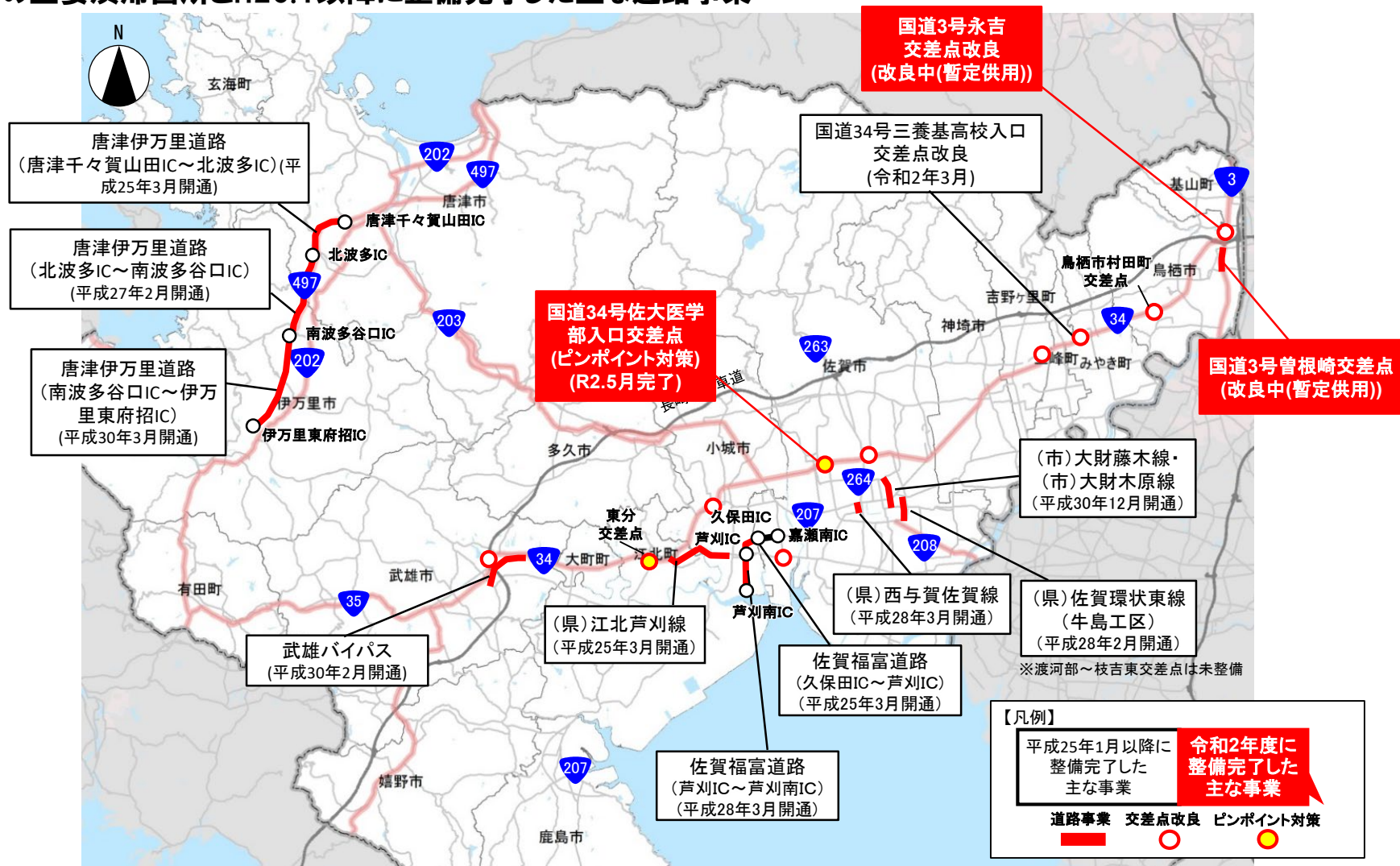


## 2. 本年度に実施した対策の効果検証

### (1) 実施箇所の紹介

- 令和2年度には、新たに「国道3号永吉交差点改良」「国道3号曾根崎交差点(鳥栖拡幅)」が暫定供用、「国道34号佐大医学部入口交差点改良」が完了しており、最新データを用いて対策の効果検証を実施

#### 佐賀県内の主要渋滞箇所とH25.1以降に整備完了した主な道路事業



# 2. 本年度に実施した対策の効果検証

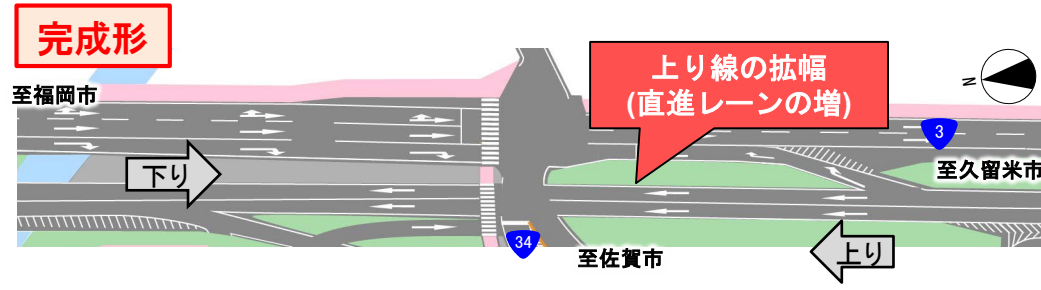
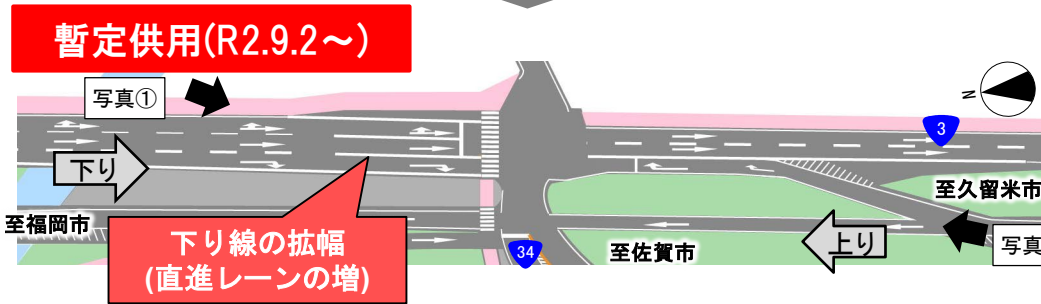
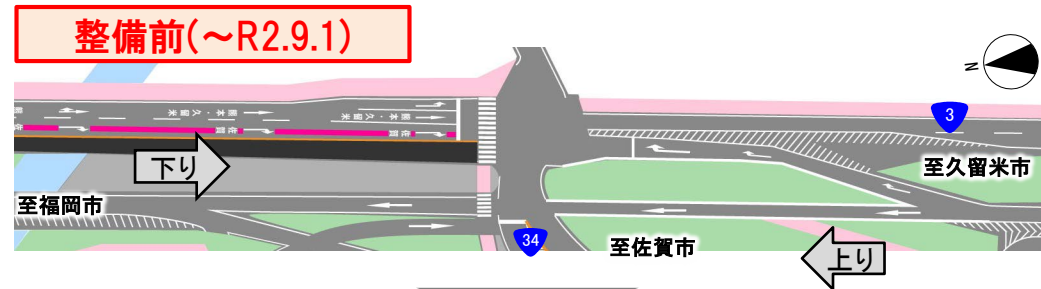
## (2) 渋滞要因及び対策内容の紹介 ① 国道3号永吉交差点

○令和2年9月に交差点改良事業(下り線の拡幅)が一部完了

### 事業概要

- R2.9月に下り線の直進車線を拡幅(1→2車線)
- 今後、上り線の直進車線を拡幅予定(1→2車線)

### 【対策内容】



九州自動車道 | 長崎自動車道 | 至小郡市 | 鳥栖IC | 永吉交差点 | 至福岡市 | 至佐賀市 | 至久留米市

— 4車線区間 — 事業中区間

Copyright(c) N T T 空間情報All Rights Reserved







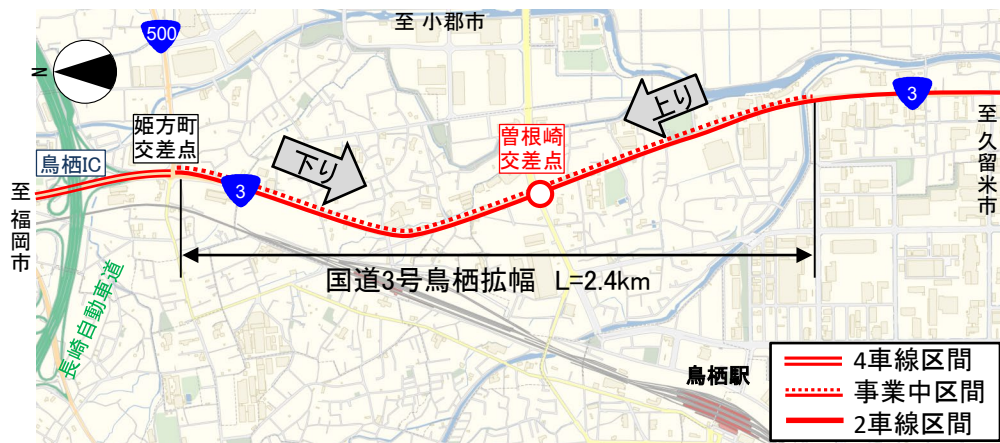
## 2. 本年度に実施した対策の効果検証

### (2) 渋滞要因及び対策内容の紹介 ② 国道3号曾根崎交差点(鳥栖拡幅)

○令和2年6月に拡幅事業の暫定供用により、右折レーンが延伸

#### 事業概要

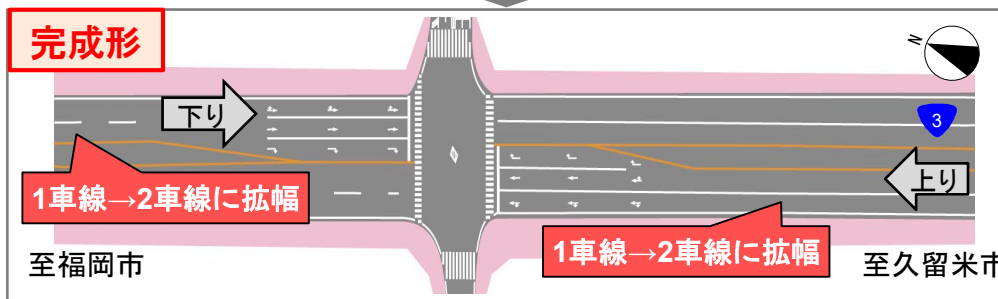
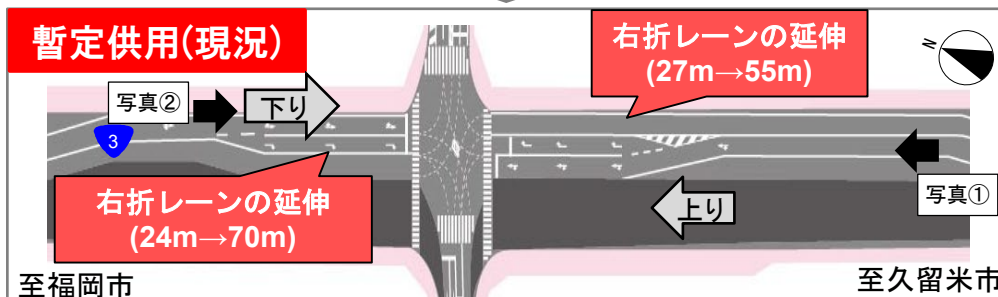
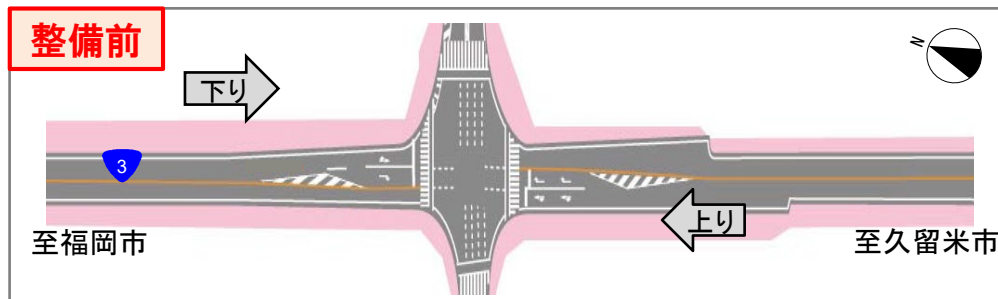
- R2.6月に右折レーンを延伸
- 今後は、上下方向ともに拡幅予定(1→2車線)



Copyright(c) N T T 空間情報All Rights Reserved



出典:ETC2.0プローブデータ平日朝タピーク(7:00~9:00、17:00~19:00)平均  
整備前:R1.9~11月、暫定供用後:R2.9~11月



交差点流入部、特に下り側において約14%の速度向上効果を確認



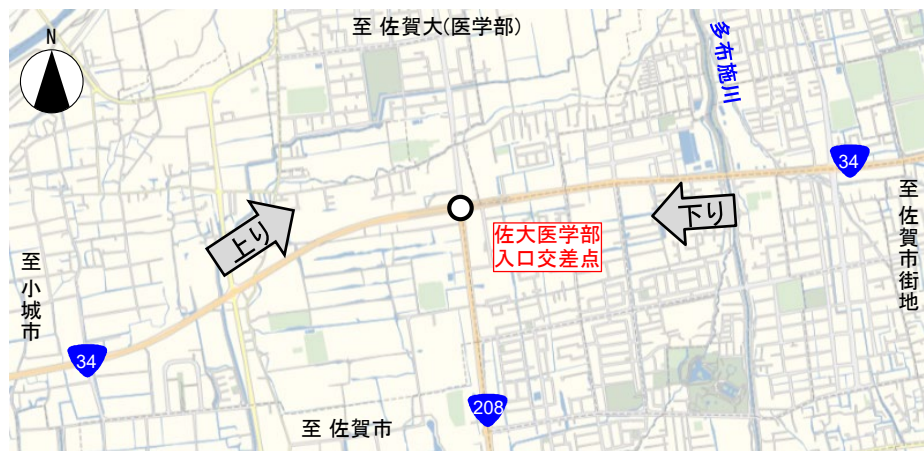
## 2. 本年度に実施した対策の効果検証

### (2) 渋滞要因及び対策内容の紹介 ③ 国道34号佐大医学部入口交差点【ピンポイント対策】

- 下り方向の流入部では、**直進・左折車線が付加車線構造**となっており、右折交通と直進・左折交通が錯綜し、渋滞が発生。
- **右折レーンを付加車線**とし、**カラー舗装による走行レーンの明示**を実施

#### 事業概要

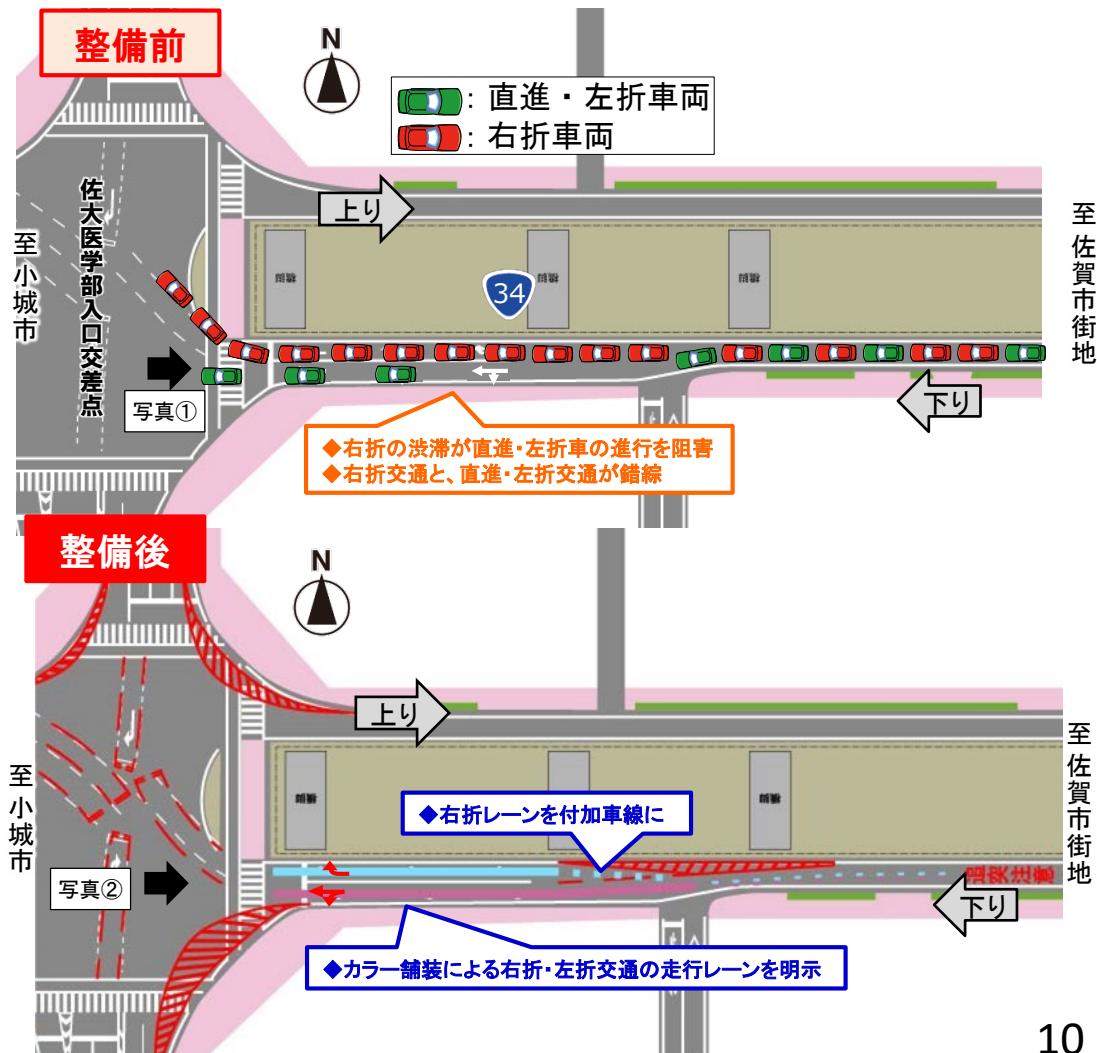
- R2.5月に下り線流入部を下記の通り改良
  - 右折レーンを付加車線に変更
  - カラー舗装による進行方向の明示



Copyright(c) N T T空間情報All Rights Reserved



#### 【対策内容】

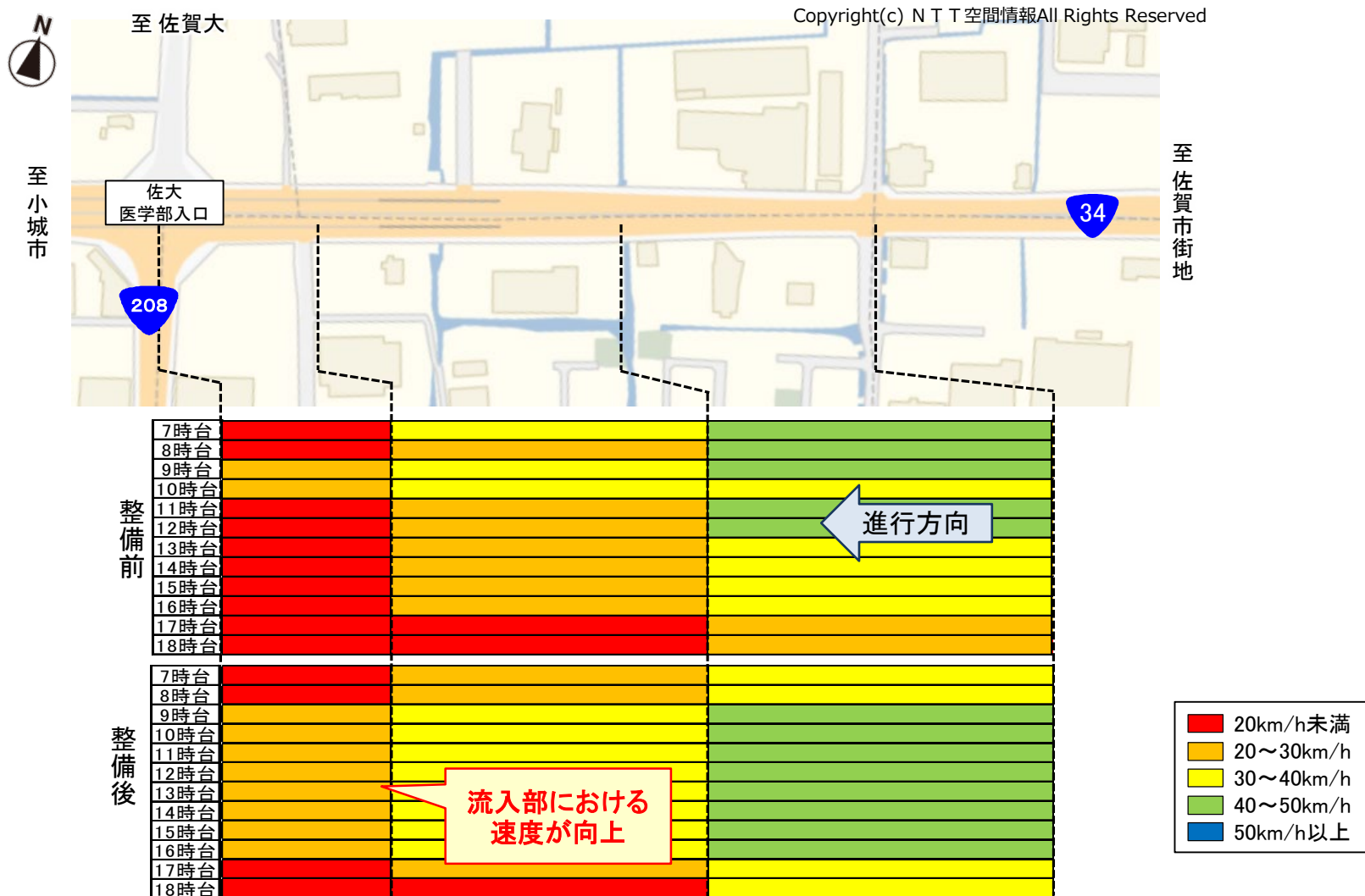




## 2. 本年度に実施した対策の効果検証

### (2)対策効果分析 ③国道34号佐大医学部入口交差点【ピンポイント対策】

○改良された下り側流入部において速度向上を確認。特に渋滞の定義となる20km/hを下回る区間の速度向上を一部時間帯にて確認



※ETC2.0プローブ情報 平日平均(データ期間整備前:R1.9~11月、整備後:R2.9~11月)

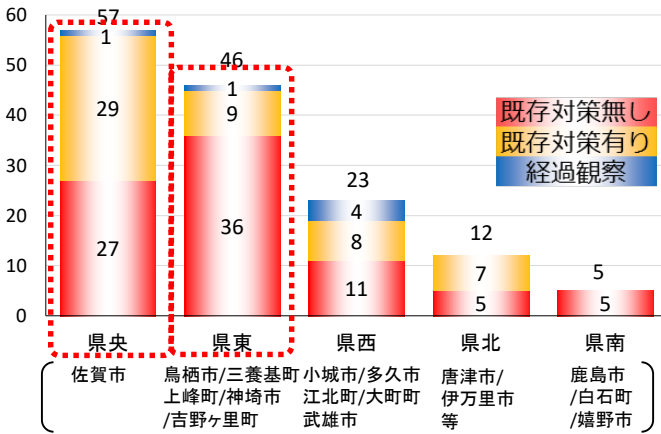
# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (1) これまでの対策方針

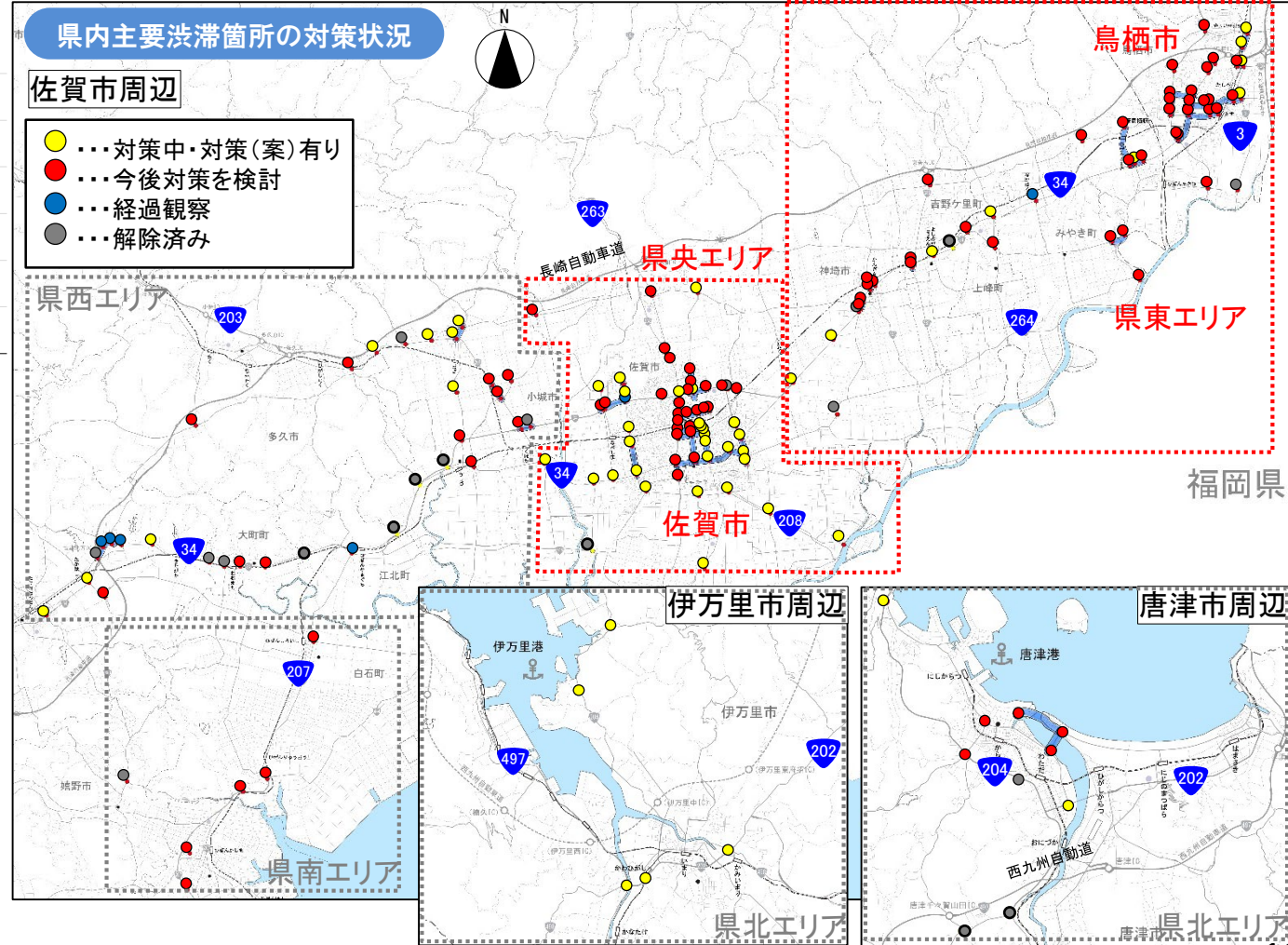
○ 【令和2年3月渋滞対策協議会】

○ 対策検討中の主要渋滞箇所が多く残る県央エリア(佐賀市)・県東エリア(鳥栖市等)に対し、即効性の高い **TDM施策の可能性を検討する方針**を決定

### ● エリア別の対策状況



※既存対策有とは事業中箇所整備後に渋滞解消・緩和が見込まれる箇所、経過観察とは対策事業実施済の箇所。



# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (1)これまでの対策方針

- 【令和2年8月渋滞対策協議会】
- 緊急事態宣言下(R2.4.17~R2.5.14)において、最も大きな速度向上がみられた佐賀市街エリアへの流入交通に着目してTDM施策を進めることを決定

### ◆佐賀市

【 平常時 】



【 緊急事態宣言中 】



### ◆鳥栖市

【 平常時 】



【 緊急事態宣言中 】



※ETC2.0プローブ情報(7~9時平均)  
 平常時: H31.4.19-R1.5.16  
 緊急事態宣言中: R2.4.17~R2.5.14



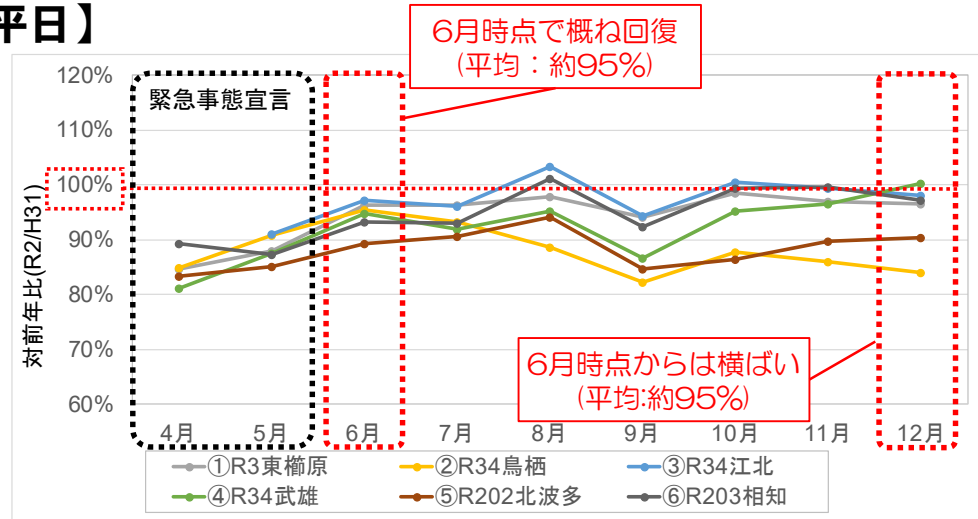
# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## 【参考】緊急事態宣言後の管内の交通状況の変化

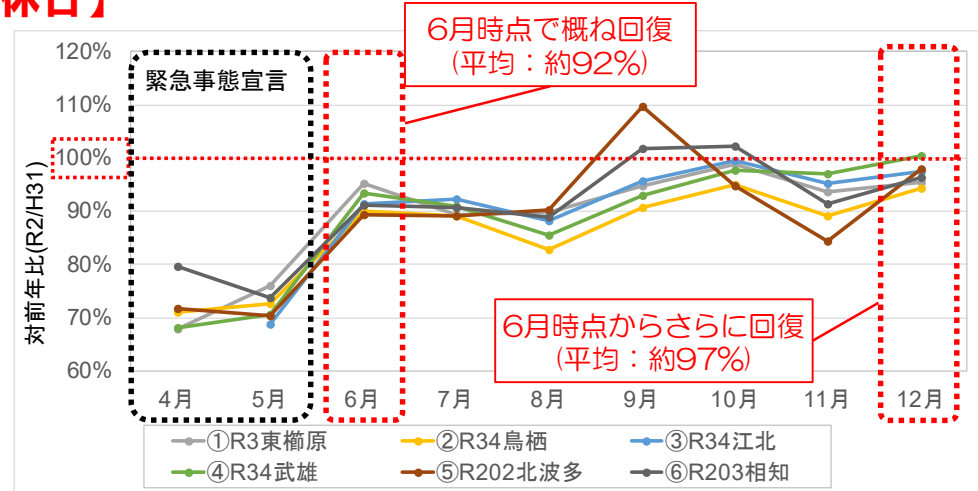
- 緊急事態宣言(R2.4.17~R2.5.14)の影響は、平日休日ともに**6月頃には前年度比9割強まで回復**
- 令和2年末時点では、休日の交通量は6月時点よりさらに回復し前年度比約97%となっている



### 【平日】



### 【休日】



※直轄トラカンデータ(H31.4~R1.12、R2.4~R2.12)  
 ※R34江北はH31.5月から取得開始

### 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

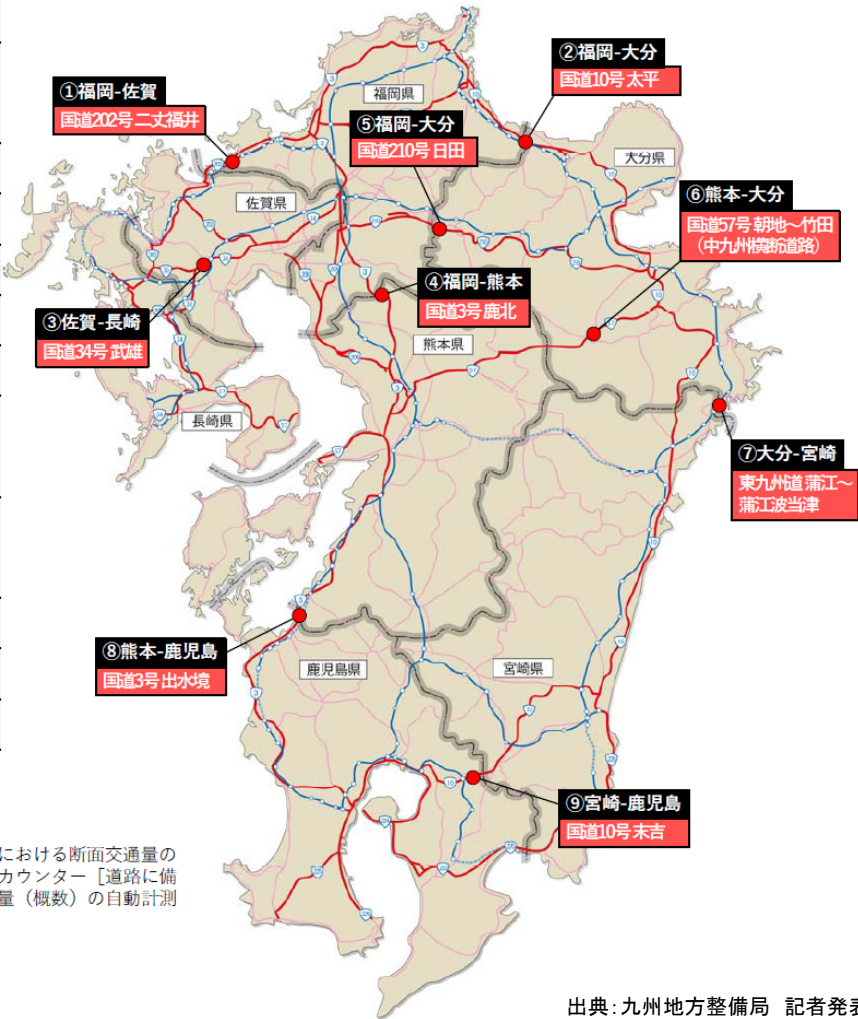
#### 【参考】緊急事態宣言後の管内の交通状況の変化【九州全域の連休時の傾向】

- GW(緊急事態宣言中)においては平均して5割まで交通量の減少している
- お盆時期には約8割まで回復し、年末年始時期に関しても同様に8割程度の状況が続いている

#### 県境付近の交通状況

番号	県境断面	周辺の観測地点名	前年との交通量比率		
			年末年始	《参考》お盆	《参考》GW
①	福岡-佐賀	国道202号 二丈福井	78%	84%	43%
②	福岡-大分	国道10号 太平	88%	88%	50%
③	佐賀-長崎	国道34号 武雄	104%	87%	56%
④	福岡-熊本	国道3号 鹿北	82%	90%	60%
⑤	福岡-大分	国道210号 日田	76%	79%	47%
⑥	熊本-大分	国道57号 朝地～竹田 (中九州横断道路)	80%	97%	46%
⑦	大分-宮崎	東九州道 蒲江～ 蒲江波当津	55%	51%	17%
⑧	熊本-鹿児島	国道3号 出水境	78%	84%	54%
⑨	宮崎-鹿児島	国道10号 末吉	78%	79%	43%
9断面(9地点)平均			81%	82%	46%

#### < 観測地点 >



#### 【集計期間】

年末年始 前年：R1.12.28(土)～R2.1.5(日) 9日間  
 今年：R2.12.26(土)～R3.1.3(日) 9日間  
 《参考》お盆 前年：R1.8.9(金)～R1.8.18(日) 10日間  
 今年：R2.8.7(金)～R2.8.16(日) 10日間  
 《参考》GW 前年：H31.4.29(月祝)、R1.5.4(土)～R1.5.5(日) 3日間  
 今年：R2.4.29(水祝)、R2.5.2(土)～R2.5.3(日) 3日間

\*交通量は、集計期間中における断面交通量の平均値(トラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置]による速報値)

注) GW、お盆の交通量は下記をご覧ください(九州地方整備局ホームページ)  
 GW：<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/koutuuryou/200515.pdf>  
 お盆：[http://www.qsr.mlit.go.jp/press\\_release/r2/20081701.html](http://www.qsr.mlit.go.jp/press_release/r2/20081701.html)





# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (2) 佐賀市街エリアの交通特性 ② 着目する方向

- 緊急事態宣言下(R2.4.17~R2.5.14)には、特に北方面・西方面からの流入において速度向上がみられた
- 特に西方面から中心部への流入速度の向上幅が大きい

### 【 平常時 】



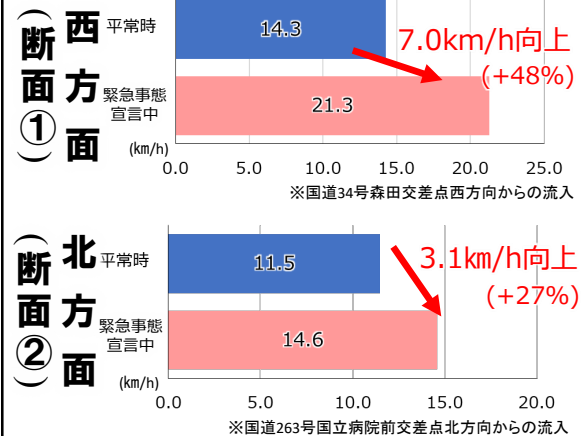
### 【 緊急事態宣言中 】



国道34号(西)/国道263号(北)では  
渋滞が緩和

### 流入速度の比較

西方面の方が速度向上が大きい  
⇒TDM施策が有効である可能性が高い



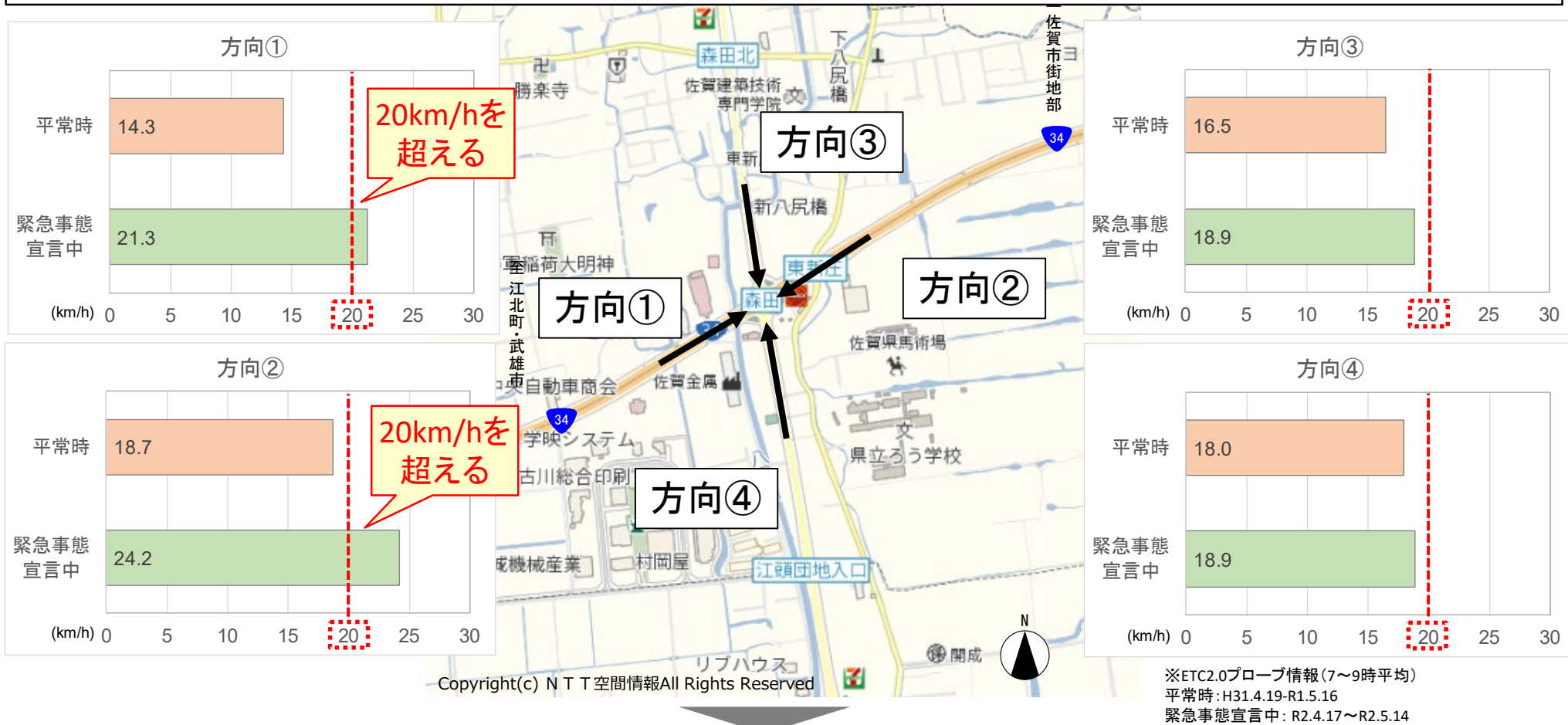
※ETC2.0プローブ情報(7~9時平均)  
平常時: H31.4.19-R1.5.16  
緊急事態宣言中: R2.4.17~R2.5.14

TDM施策により大きな効果が期待できる西方面からの交通(森田交差点等)に着目

### 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

#### (2)佐賀市街エリアの交通特性 ③森田交差点の状況

- 平常時の森田交差点においては、**全方向にて20km/hを下回る**  
⇒ **信号現示調整による渋滞対策は困難**



国道34号の上下方向においては、**緊急事態宣言中(R2.4.17~R2.5.14)に速度が向上**  
⇒ **TDM施策による渋滞緩和が期待できる**



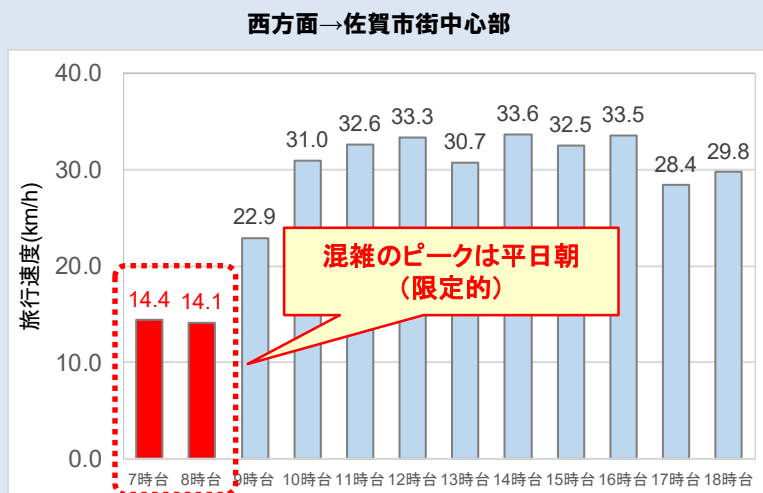
# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (2)佐賀市街エリアの交通特性 ④西方面の交通特性の分析

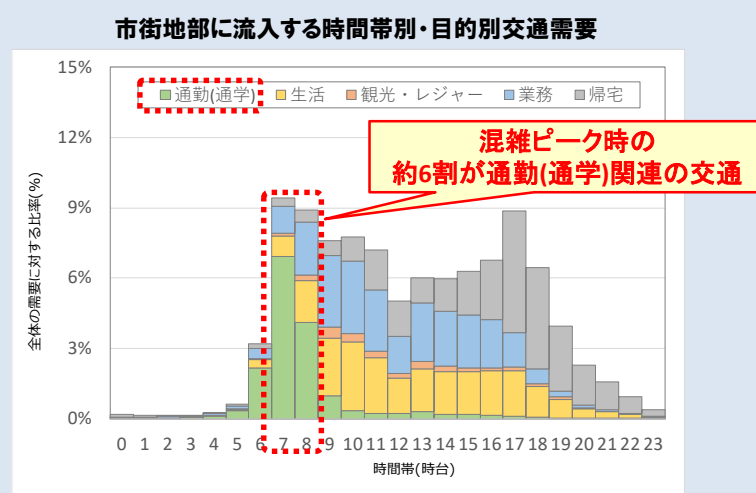
- 西方面から市街地部へ流入する交通の特性をみると、7時～9時において速度低下が顕著であり、移動目的は通勤(通学)が6割を占める
- 従って、7時～9時に西方面から流入する通勤(通学)交通をターゲットとしてTDM施策を検討

### 【通常時の交通特性】

#### ◆旅行速度状況



#### ◆交通の内訳



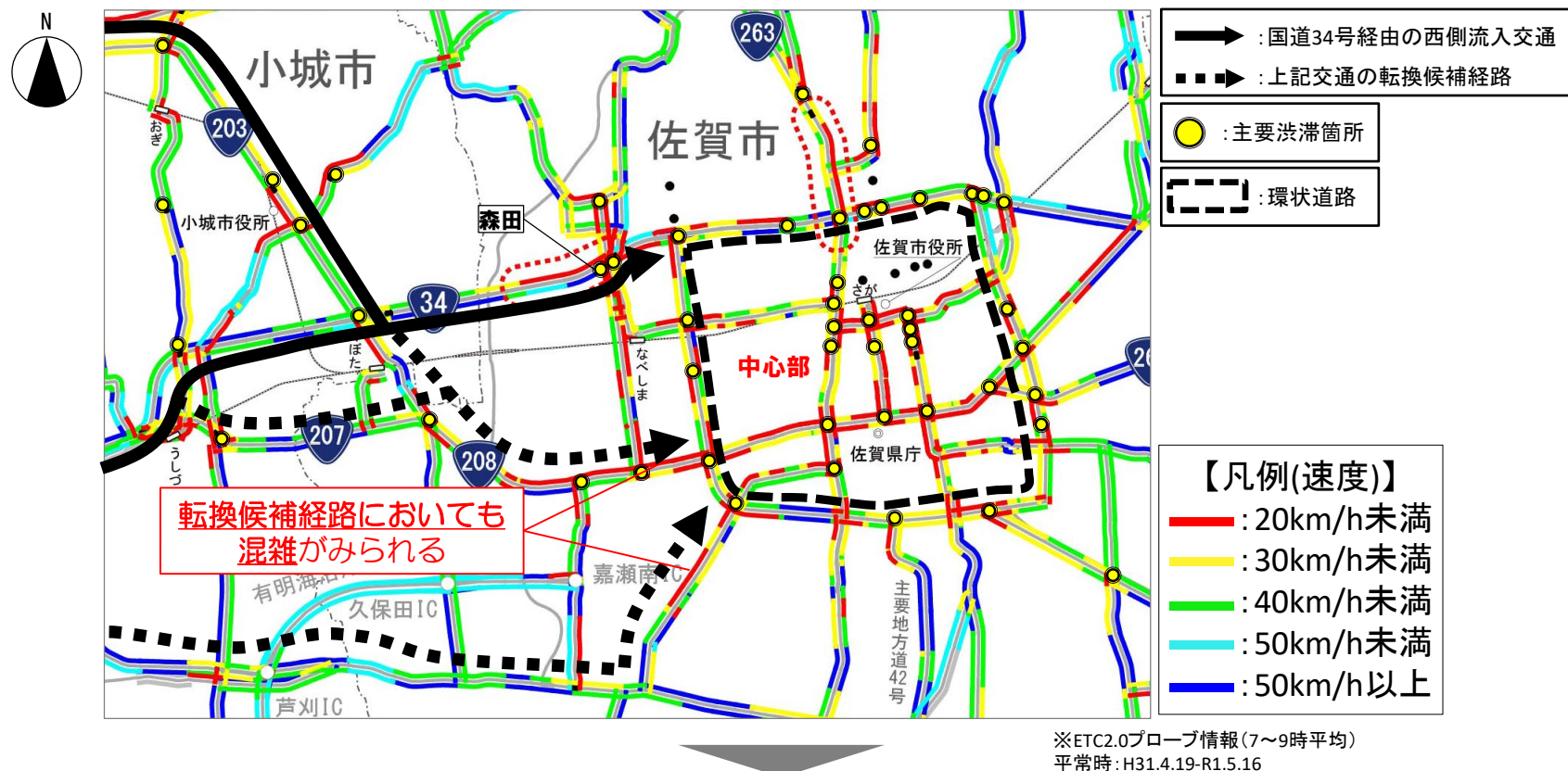
### 【交通特性から見えるターゲット】

ターゲット	西方面より佐賀市中心部への流入交通（主要渋滞箇所は「森田交差点」）
時間帯	朝ピーク（7～9時）
移動目的	通勤（通学）交通
有効なTDM施策(例)	時間分散(時差出勤)、経路分散、手段分散(公共交通、自転車利用促進)、需要抑制(テレワーク)

### 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

#### (3)TDM施策の検討 ①経路分散

- 国道34号を經由して西方面から佐賀市街地部に流入する交通の**転換候補として、国道208号等の経路が挙げられるが、どの経路においても主要渋滞箇所が存在し、旅行速度20km/hを下回る区間が存在**



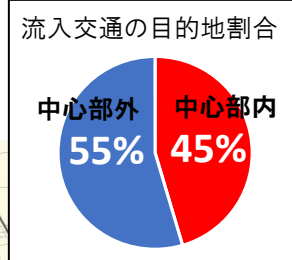
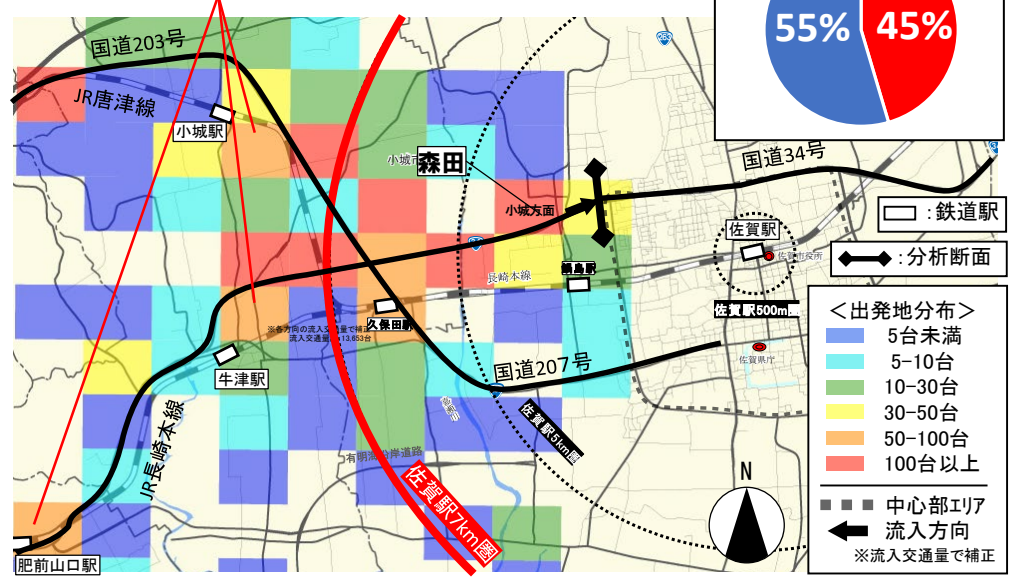
西方面から流入するすべての経路にて速度低下がみられる  
⇒ 経路転換による渋滞緩和は効果が低い

# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

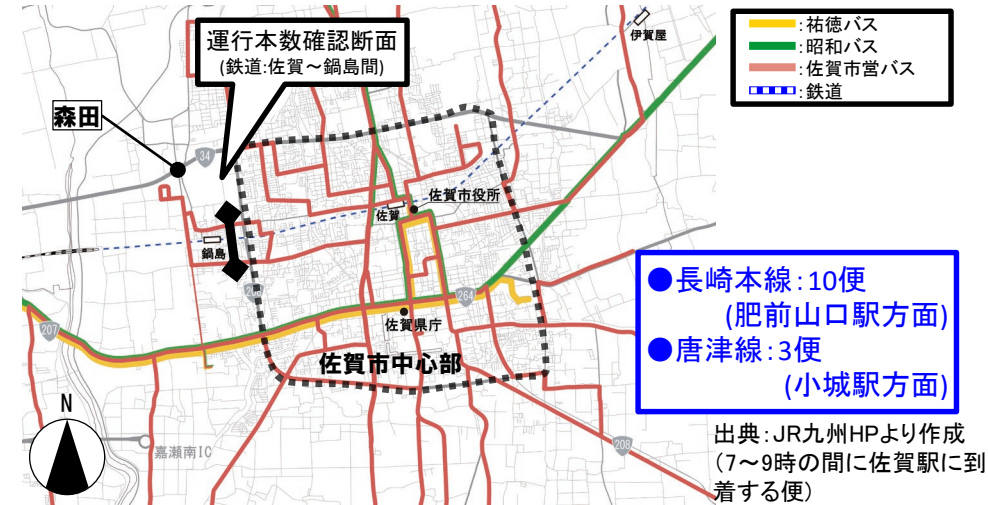
## (3)TDM施策の検討 ②手段分散 (i.鉄道転換)

- 7～9時の間に西方面から流入する交通の出発地をみると、**鉄道利用の優位性が高いとされる中心部から7km以遠の鉄道駅周辺に分布**
- 西方面から中心部へは、長崎本線や唐津線等の鉄道が運行されている

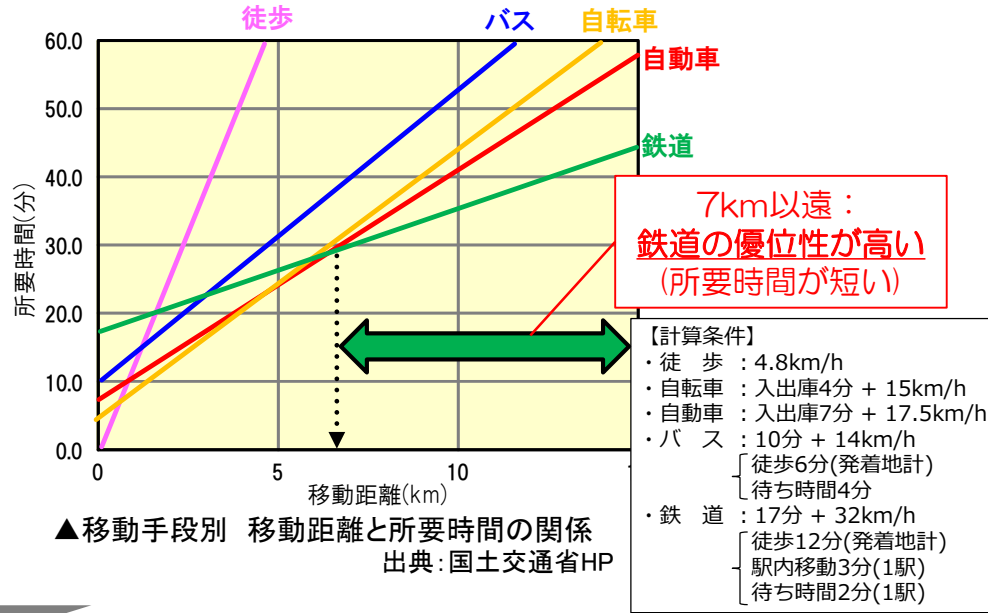
7km以遠の鉄道駅周辺に  
出発地が分布



▲国道34号経由で西方面から流入する交通の出発地  
出典：ETC2.0プローブ情報(H31年度 平日7-9時)  
※目的地は、15分以上滞在した箇所を設定



▲西方面からの公共交通網



▲移動手段別 移動距離と所要時間の関係  
出典：国土交通省HP

【計算条件】

- ・ 徒歩：4.8km/h
- ・ 自転車：入出庫4分 + 15km/h
- ・ 自動車：入出庫7分 + 17.5km/h
- ・ バス：10分 + 14km/h  
 { 徒歩6分(発着地計)  
 { 待ち時間4分
- ・ 鉄道：17分 + 32km/h  
 { 徒歩12分(発着地計)  
 { 駅内移動3分(1駅)  
 { 待ち時間2分(1駅)

鉄道への転換は渋滞緩和の可能性有り



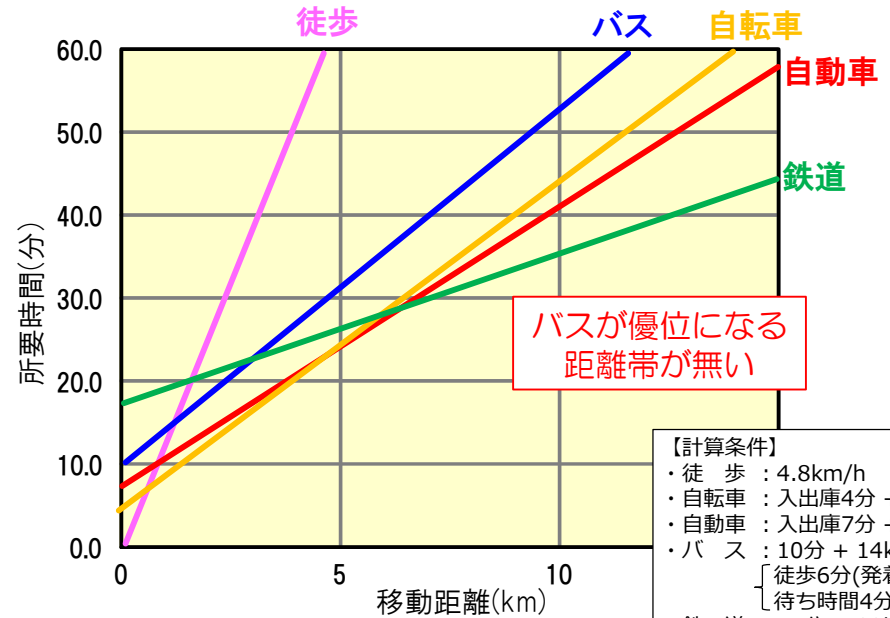
# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (3)TDM施策の検討 ②手段分散 (ii.バス転換)

○ 現在、**国道34号経由で西方面から佐賀市街地部へ流入するバス路線が運行しておらず**、また所要時間的にみてもバスは自動車よりも優位になりにくい



▲西方面からの公共交通網



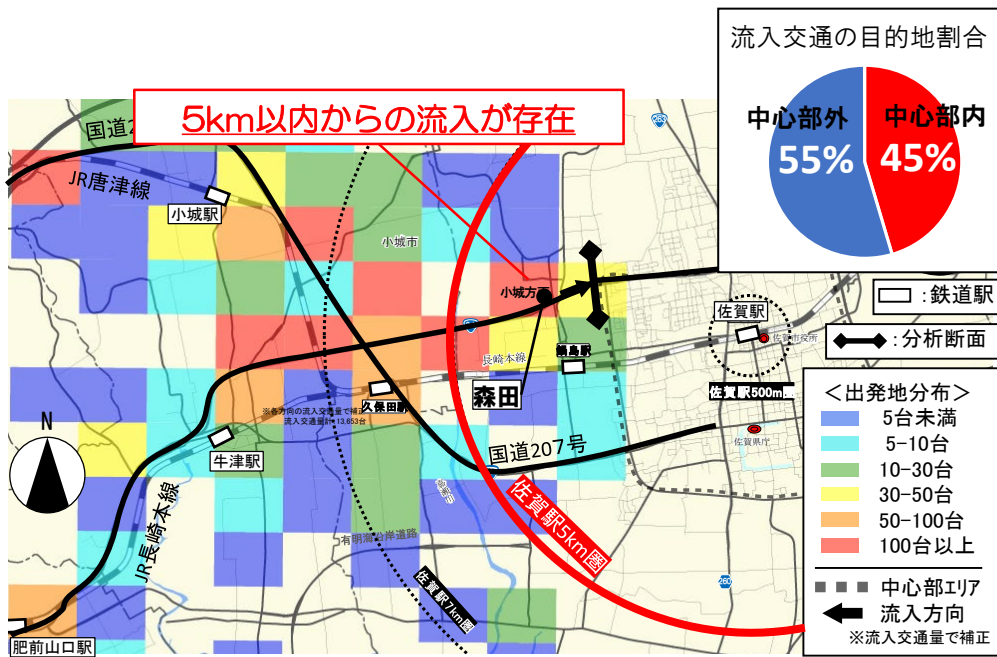
▲移動手段別 移動距離と所要時間の関係  
出典:国土交通省HP

バスへの転換単独では渋滞緩和の効果が低い

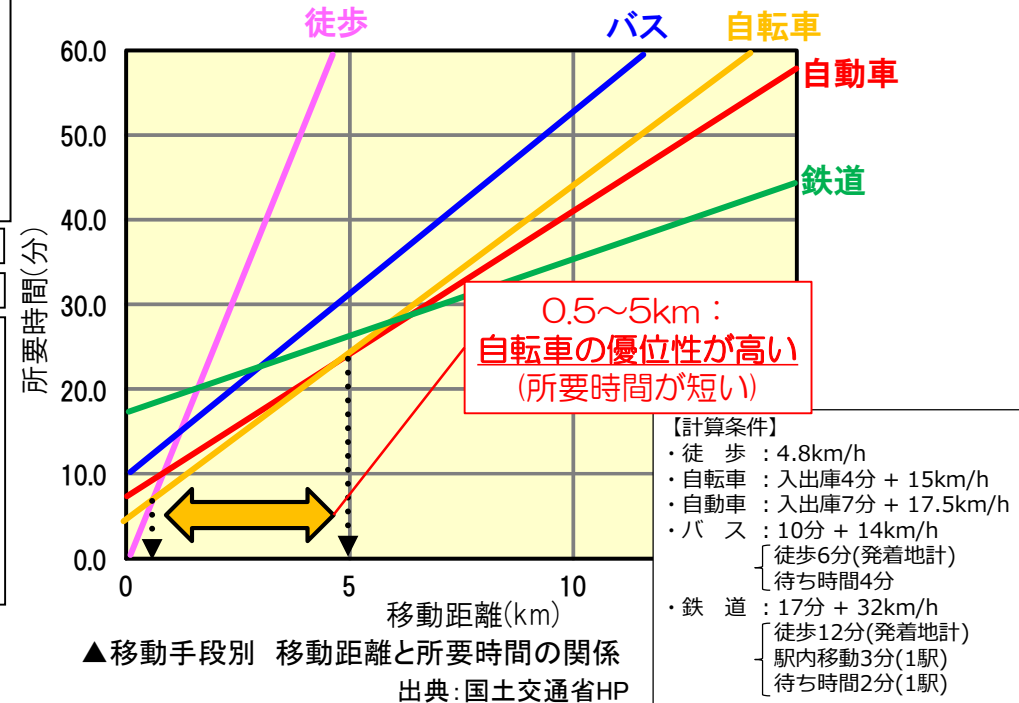
# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (3)TDM施策の検討 ②手段分散 (iii.自転車転換)

○ 7～9時の間に西方面からの流入する交通の出発地をみると、**自転車利用の優位性が高いとされる中心部から0.5km～5kmの距離帯にも分布**



▲国道34号経由で西方面から流入する交通の出発地  
出典：ETC2.0プローブ情報（H31年度 平日7-9時）  
※目的地は、15分以上滞在した箇所を設定



自転車への転換は渋滞緩和の可能性有り

# 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## (3)TDM施策の検討 ③時間分散 ④需要抑制

- 時間分散策については、平成30年より時差出勤の呼びかけを継続中
- コロナ禍によるリモートワーク需要の増加に対応するため、佐賀市にてテレワーク推進支援室を設置
- テレワークの普及による移動需要の削減に伴い、混雑緩和に繋がることが期待される

時差出勤・交通手段の変更で  
**“ラクラク通勤”始めてみませんか？**

佐賀中心部の通勤時間帯の渋滞状況  
 都市部では、通勤時間帯に交通が集中することで短時間のみ渋滞している箇所が存在しているため、上手に分散することが重要です。

朝の渋滞が発生する場所と時間帯は？  
 市街地周辺の主な渋滞箇所  
 ① 通勤時間帯  
 ② 通勤時間帯  
 ③ 通勤時間帯

時差出勤・交通手段変更  
 朝の出勤時の交通機関の混雑を緩和するため、出勤時刻をずらす方法です。また交通手段を変更することで混雑が分散される効果もあります。

時差出勤・交通手段変更を実施すると

佐賀県交通渋滞対策協議会

支援策	概要	対象、条件	相談窓口、連絡先
佐賀よろずコロナ対策支援窓口	持続化給付金、家賃支援給付金等の申請書作成方法等の相談、支援 (※申請代行は行いません)	持続化給付金、家賃支援給付金等を申請予定の事業者	佐賀よろずコロナ対策支援窓口 0952-37-9507 <a href="https://with-biz.jp/news/105.html">https://with-biz.jp/news/105.html</a>
文化芸術祭“LiveS Beyond”【受付終了】	【県内所在のライブハウス、ライブバー、ジャズバー等支援】 無観客（少人数可）ライブの配信を支援。 公演1回当たり、最大50万円の制作費を支給 (席数により、金額は異なります)	詳細はLiveS Beyond公式サイトで要確認 LiveS Beyond 公式サイト <a href="https://www.livesbeyond.jp">https://www.livesbeyond.jp</a> ※8月21日をもって参加団体の受付終了	ライブプロモット事務局 電話：090-8371-9160 メール：info@livesbeyond.jp
欠損金の繰戻し還付（特例）	前年度赤字で、今年度赤字の場合、前年度に納付した法人税の一部還付を受けることが可能	「現行：資本金1億円以下」を「特例：資本金10億円以下」の法人に拡大	佐賀税務署 0952-32-7511（代表） （→法人税部門へ）
施設用の消毒液の配布	次亜塩素酸水の配布 (1回あたりの配布量は1事業所あたり20Lまで)	市内の公共施設や民間の医療施設及び介護施設、保育園などの関係者 6月1日からは、自費申請の解除を受け、事業を再開される飲食店、旅館等を配布対象に追加 (事前予約が必要です)	佐賀市上下水道局 0952-33-1334
ふるさと納税PR	地場産品のPRとともに、事業者支援を兼ね、ポータルサイトを活用したふるさと納税のPRを行う	佐賀市内に本店を有する法人・団体・個人事業者	佐賀市観光協会 0952-20-1107
ECサイトを活用した市産品販売促進	インターネット上のウェブサイトを活用して、市産品の販売促進を行う	—	佐賀市観光協会 0952-20-2200
地場産品マッチングサイト構築支援事業	事業者の新たな販路開拓、地場産品の効果的な情報発信等を後押しするために、地場産品とバイヤーをマッチングできる高WEBサイトの構築を支援	市内事業者	佐賀市商農振興課 0952-40-7106
中小企業・小規模企業生産性向上推進支援事業【終了】	デジタル技術を活用した非対面型のビジネスモデルへの転換やテレワーク導入などの、生産性向上に積極的に取り組む市内中小企業・小規模企業を支援	市内中小企業・小規模企業 ※令和3年1月21日をもって、申請受付終了	佐賀市工業振興課 0952-40-7101
テレワーク導入支援室	テレワーク導入に関する各種相談に対する助言や、企業への訪問によるテレワーク導入のための各種課題解決に向けた助言や支援策を紹介	市内事業者 ※11月2日から開設しています	佐賀市テレワーク推進支援室 0952-37-1319

出典：佐賀市HP

出典：佐賀国道事務所(佐賀県交通渋滞対策協議会)HP

継続的に取り組みを実施

### 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

#### (3)対策メニューの検討【まとめ】

- 前頁までの検討を踏まえ、「鉄道への転換」「自転車への転換」の推進が、森田交差点における対策内容として効果的であると考えられる

分類	森田交差点への対策案		適用可能性	備考
①経路分散	・ルート転換		×	・転換先の候補路線においても混雑がみられる
②手段分散	・公共交通機関への転換	・鉄道	○	
		・バス	△	・国道34号経由の路線バスが運行していない
	・自転車への転換		○	
③時間分散	・時差出勤 等		—	・H30年度より取組継続中
④需要抑制	・在宅勤務・テレワーク ・サテライトオフィス 等		—	・佐賀市において、テレワーク推進の取組みを開始

### 3. 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

#### (4)対策内容と今後の展開

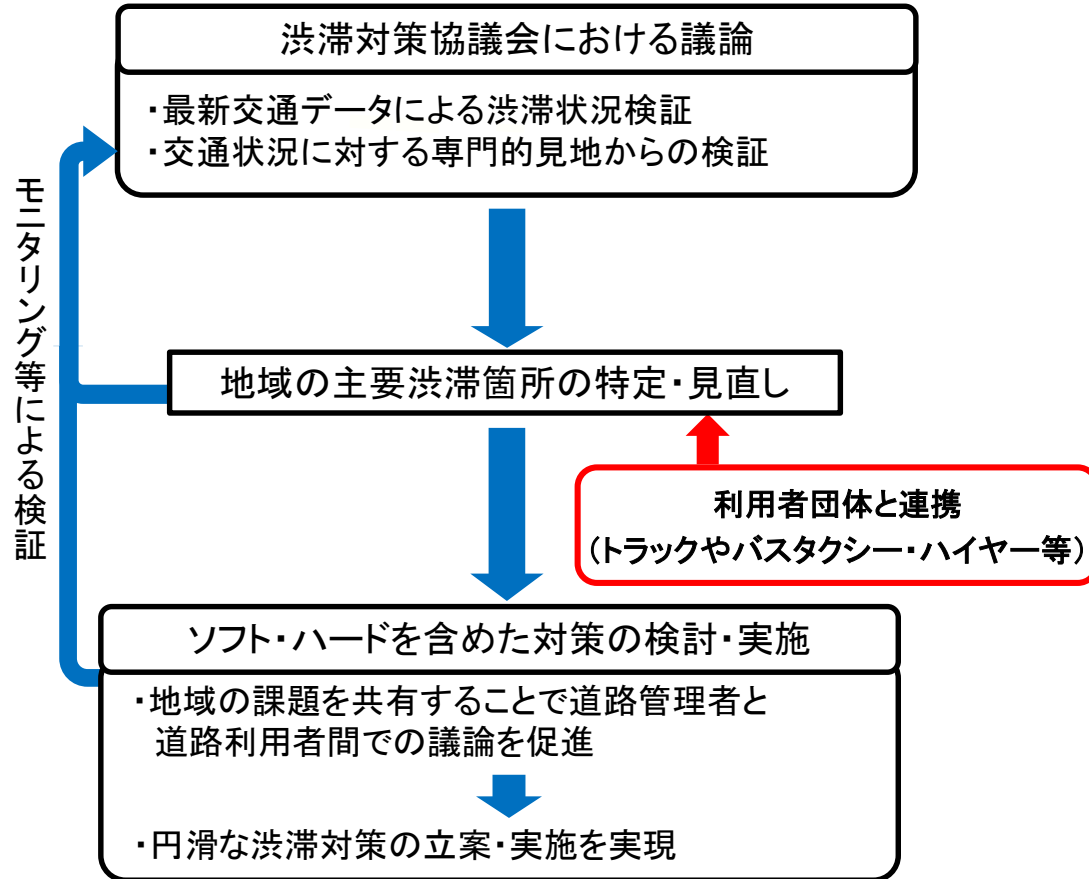
- 渋滞体対策協議会としてのTDM施策は下記の通りとし、実行(実証実験)までに必要な各種詳細の検討や関係機関協議等を実施する

TDM施策のターゲット	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 佐賀市街地部へ流入する通勤交通をターゲット</li><li>・ モニタリング箇所(代表交差点)を「森田交差点」に設定</li></ul>
対策内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 鉄道利用への転換(主に中心部から7km以遠の通勤者)</li><li>・ 自転車利用への転換(主に中心部から5km以内の通勤者)</li></ul>
施策展開方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施日(期間)を決めて実行(実証実験)を行う</li></ul>
今後の調整事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施内容の確定 (広報計画、効果検証方法の検討)</li></ul>
将来的な展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手段転換施策について、継続的な効果検証・改善を実施</li><li>・ 取組中の時差出勤や在宅勤務の推進を継続実施</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">佐賀市街地部の面的な渋滞緩和を図る</div>



## 4. 官民連携による渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

# 4. 官民連携による渋滞対策

## (1) 要望箇所一覧

【トラック協会からの対策要望箇所(令和2年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道3号 永吉交差点付近 <b>対策中</b>	国道204号 黒塩交差点
	県道31号 乗目交差点	国道207号 片田江～扇町
	国道3号 曾根崎交差点 <b>対策中</b>	県道17号 柚比IC～アウトレット鳥栖付近
	国道34号 佐賀北警察署前 <b>対策中</b>	県道31号 東脊振IC付近
	国道34号 村田交差点(鳥栖市) <b>検討中</b>	県道48号 千布北交差点付近
	国道3号 姫方町交差点 <b>対策中</b>	県道224号 扇町 <b>対策中</b>
	国道34号 鳥栖市役所付近	国道34号 県道248号 森田 <b>対策中</b>
	国道34号 一本松交差点(鳥栖市)	県道31号 上峰～鳥栖
	国道34号 田手交差点(吉野ヶ里町)	【県外の道路】国道2号 岡山バイパス
	国道34号 二本黒木交差点付近	【県外の道路】国道2号 廿日市～岩国線
	国道34号 神埼警察署前	【県外の道路】国道3号 北九州八幡～黒崎線
	国道34号 協和町交差点	【県外の道路】国道3号 大野城～太宰府
	国道34号 佐大医学部入口 <b>R2対策済</b>	【県外の道路】国道500号 大刀洗町十文字交差点付近
	国道203号 畑田交差点付近 <b>対策中</b>	【県外の道路】国道500号 西鉄小郡踏切付近
国道263号 尼寺南小路交差点	【県外の道路】県道35号 粕屋～筑紫野	
国道3号 弥生が丘入り口交差点	【県外の道路】国道3号 苅原交差点	

【バス協会からの対策要望箇所(令和2年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道264号・県道30号 片田江交差点付近 <b>対策中</b>	国道34号 田手交差点付近
	国道207号 八戸交差点付近 <b>対策中</b>	国道3号 永吉交差点付近 <b>対策中</b>
	国道34号 北方工業団地入口交差点付近	国道207号 与賀町交差点付近
	国道202号 川東江湖迂交差点 <b>対策中</b>	国道207号 扇町交差点付近
	国道202号・国道204号 二里大橋交差点 <b>対策中</b>	国道34号 国道208号 佐大医学部入口交差点付近 <b>R2対策済</b>
	国道204号 名村造船出勤時渋滞	国道263号・県道48号 尼寺南小路交差点
	国道202号 大土井交差点付近 <b>検討中</b>	国道264号・県道267号 神野1丁目交差点
	唐津東中・高～東唐津交差点 唐津口イヤルホテル川側の道	唐津市東唐津交差点と唐津市東町交差点(松浦橋北側・南側)
	県道347号 東町交差点付近	【県外の道路】県道602号 天神交差点付近

【タクシー・ハイヤー協会からの対策要望箇所(令和2年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	道34号 鳥栖市役所交差点(鳥栖市)	国道203号 畑田交差点(小城市) <b>対策中</b>
	国道34号 田手交差点(吉野ヶ里町)	国道207号 八戸交差点(佐賀市) <b>対策中</b>
	国道34号 佐大医学部入口交差点(佐賀市) <b>R2対策済</b>	国道208号 新栄小学校交差点(佐賀市) <b>対策中</b>
	佐賀市道 医大東通り、佐大病院正門から国道34号高架下付近(佐賀市)	県道347号 東唐津交差点(唐津市)
	国道34号 白岩公園入口交差点(武雄市)	県道44号 中町交差点
	国道202号 二里大橋交差点(伊万里市) <b>対策中</b>	

# 4. 官民連携による渋滞対策

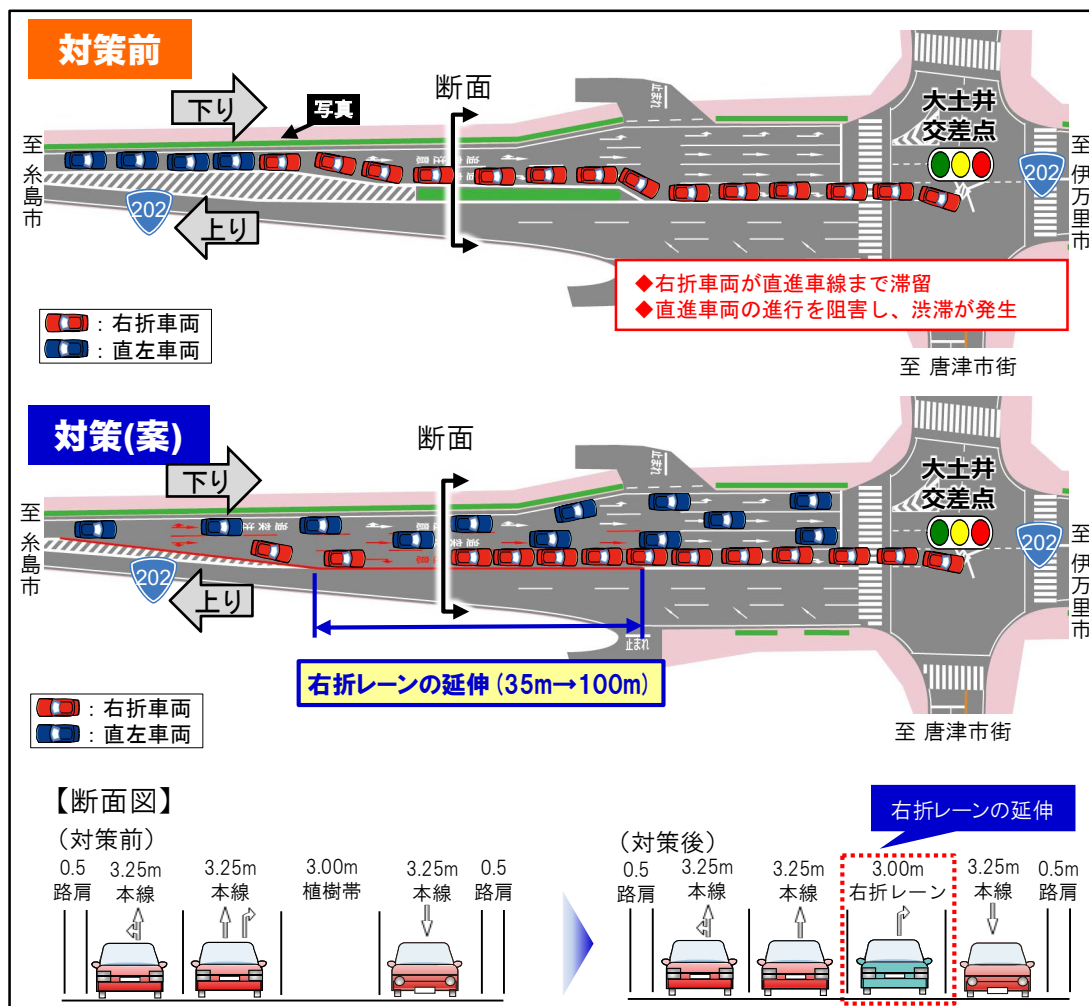
## (2) 検討状況 ① 国道202号大土井交差点

○ 唐津市街へ向かう右折車両の滞留により、直進車両の阻害が発生

《位置図》



《広域図》



右折レーンの延伸を検討しており、令和2年10月に交通量調査を実施し現在設計を実施中



# 4. 官民連携による渋滞対策

## (2) 検討状況 ② 国道34号鳥栖市村田町交差点

○ 鳥栖市方面へ向かう上り方向にて、**右折車両の滞留により、直進車両の阻害が発生**

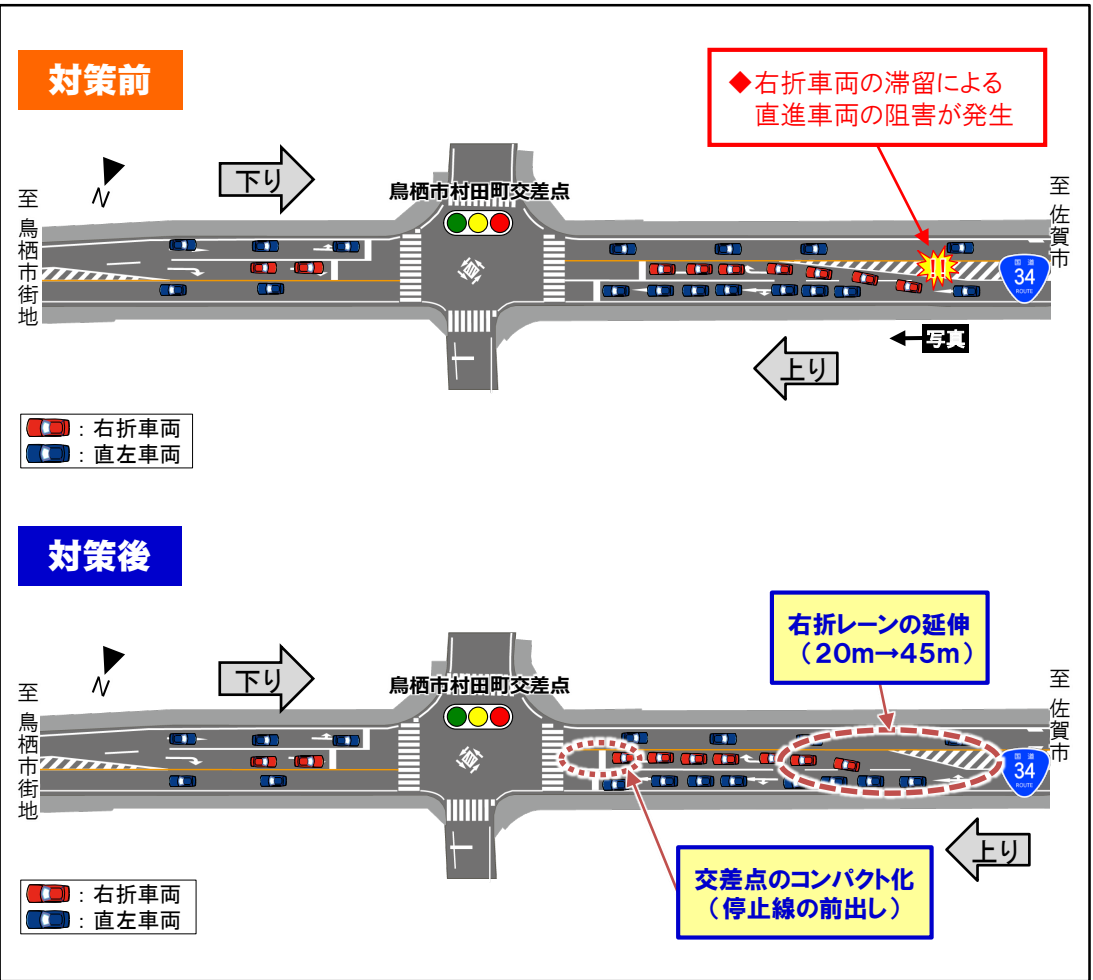
《位置図》



《広域図》



《説明図》



**右折レーンの延伸及び交差点のコンパクト化(停止線の前出し)を検討**

## 5. 今後について

- これまでに議論した交通課題を踏まえて、道路整備を始めとするハード対策や、現状の機能を有効活用するためのTDM施策、ピンポイント渋滞対策を検討
- 特に佐賀市中心部への流入交通については、交通課題を踏まえたうえでの交通需要マネジメント施策等のTDM施策の検討深度化を進める

### ・次回の協議会に向けて

①主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングの継続・評価

②主要渋滞箇所の渋滞要因の把握及び新たな対策の検討(道路整備、TDM施策、ピンポイント対策等)  
→特に佐賀市街地部に対するTDM施策は、広報計画や効果検証方法等、対策詳細を検討・調整

③既存対策の推進